

『光中を思う気持ち』

R 4 . 9 . 1 4

光中を思う熱い気持ちに、聴いている私はうれしくなりました。昨日の後期生徒会役員選挙立会演説会のことです。

今回は会長が信任投票、副会長と執行役員が選挙となりました。立会演説会では1年生の候補者から3年生まで、皆堂々と自分の公約を語りました。語られたのは、後期最大の行事「学習発表会」から光中生徒会の四本柱「挨拶、歌声、時間、ボランティア」、読書習慣や身だしなみ、環境整備等、様々な角度からの提案。どれも実体験や日頃の思いから導き出された、地に足の着いた内容でした。「光中を良くしたい！」という候補者の熱い思いが伝わってくる素敵な時間でした。

さらに素敵だったのは質疑応答の時間。これまた1年生から3年生までたくさんの質問者が前に並びました。候補者はきっと緊張したことでしょう。次々と公約に対する質問が飛びます。候補者は鋭い質問に一瞬考えこみながらも、自分の考えを丁寧に伝えていきます。

すごいなあと感じたのは質問の内容です。もちろん、よく分らないことがあるから質問した、というものがあって当然ですが、多くの質問は「こうしたらよいと思うのですがどうですか？」といった建設的な提案だったのです。質問者もいかに光中のことを真剣に考えているかが分かります。

とどめを刺されたのが、質問者が最後に候補者にかける言葉です。「ありがとうございました。頑張ってください。」。決して、質問者は候補者を非難しているのではなく、エールを送っているのです。

今朝、投票結果が公示されました。選挙ですから、当然当落があります。晴れて生徒会執行部の一員となった皆さんには、残念ながら涙をのんだ仲間の思い、質問に立った仲間の思いを忘れず活躍してほしいと思います。皆、光中を良くしたいという同じ思いをもった仲間ですから。

美術部や授業で制作した作品を展示しています。お越しの際にはぜひご覧ください。

